



JBL GRAPHIC '84

JBL

伝説の偉人がみなそうであるように、彼の生涯は波乱に満ちている。JBL社を興し、今日のスピーカー技術の基礎を築いた男、ジェームス・B・ランシング。JBLの名は、

いうまでもなくそのイニシャルをとったものである。彼は根っからの技術者だった。スピーカーづくりにかけては、おそらく並ぶものない天才技術者だった。幾つもの輝かしい名作を遺した彼は、しかしその才能と信念の故にしばしば人との妥協を拒んだ。一途に完璧を願い、品質を徹底的に重視した。彼を曲げることは誰にもできず、そのためランシングの人生は栄光と挫折とがいつも背中合わせになっていた。だが彼の正しさと偉大さは、それから時を経るにつれいよいよ明確化されてゆくのである。

1927 ジェームス・B・ランシング。古くからのJBLファンには“ジム・ランシング”と親しみをこめて呼ばれる外柔内剛の天才技術者。彼は1902年にイリノイ州で生まれています。生来の科学好き。少年時代には世界でもっとも早い時期にラジオ送信機を自作したというひとかどのエンジニアでした。自動車工場の職工などを経て、22歳の年にユタ州ソルトレークで放送局の技師に転身。ジム・ランシングの運命はここで大きく変わります。実業家ケン・デッカーと出会い、スピーカーづくりを志すことになったのです。1927年、ジム・ランシング25歳の春に、2人はロサンゼルスへ移り、

The JBL Way

「ランシング・マニユファクチュアリング社」を創設します。ささやかな町工場とはいえ、それはジム・ランシングが十分に探しあてたライフワークの始まりでした。彼の才能は

急速に開花してゆきます。1927年は、トーキー映画の第1作「ジャズシンガー」が公開された年。若き技術者ジム・ランシングの未来も約束されているかのようでした。

1934 しかし、ほどなく1929年の大恐慌がやってきます。ランシング・マニユファクチュアリング社も容赦なく不況の波にもまれ、苦難の時代を過ごします。唯一の救いがトーキーでした。暗い現実から逃れるために、人々は映画館に殺到したのです。そしてジム・ランシングに劇的なチャンスが訪れます。MGM映画からもちこまれた初めてのビッグ・ビジネス。劇場用スピーカー・システムの製作です。ジム・ランシングは全力を費して1934年にこのシステムを完成します。それは、38cmウーファーのダブル・ホーンとマルチセラー中高音ホーンから成る大型2ウェイでした。



James B. Lansing (1902-1949)

1936 ランシング・マニユファクチュアリング社によってくりあげられた斬新なこのシステムは、当時のMGM音響部長で基本計画を指導したダグラス・シャラーの名をとって「シャラーホーン・システム」と呼ばれます。シャラーホーン・システムは素晴らしい成功をおさめ、1936年に映画芸術科学アカデミー賞を受けました。まさしく

彼の魂は今もJBLに生きている。
生涯を音に賭け、壮烈に殉じた天才技術者
ジェームス・B・ランシング。

